

横浜国立大学建築学コース平成 22 年 3 月卒業式 挨拶

ご紹介に預りました水煙会会長の長崎でございます。この度はご卒業の運び誠にとおめでとうございます。横浜高等工業、横浜高専、工業教員養成所 横浜国立大学建築学及び同大学院等の卒業生、修了者、つまり水煙会に所属されております約 4000 名を代表して皆様方にご卒業のお祝いを申し上げます。

ちなみに私は昭和 41 年卒業で、その後本日まで 44 年間一つの企業で働いてまいりました。当時はほとんどの人たちがそうであったのですが、まさに戦後の荒廃から立ち上がる為、皆が必死に汗水たらして働かざるを得なかった 20 世紀後半の半世紀でした。敗戦のため狭くなった国土と共に農業から工業へと産業基盤の転換、それに伴って急増する都市人口、戦後の急激な人口増、と云った社会の中ですから、一つの企業で黙々と働き、安くて、早くて、何しろ効率第一優先の建築が求められたわけです。

しかし皆様方がこれから実社会に出られて、本格的にこの国を、あるいはこの地球を背負って行かれる時期となります。21 世紀の前半の半世紀は、それこそ全く逆で少子高齢化に伴って人口は減少、脱工業化の産業基盤づくり、都市の人口流入は東京圏以外ほとんどなく、各地ではどんどん過疎化が進行、と云った社会情勢になりそうです。当然、私たちの世代はこのような社会は未経験ですので、残念ながら皆様方にそれこそ気の利いたアドバイスや饒のことばなどはとても差し上げられる資格があるとは思っておりません。

良く新聞等で、これからは環境、健康、アジアがキーワードだ等と云う評論家がありますが、これとて当たるかどうかわかりませんが、私たちが選んだ建築というものは、3000 年の昔から衣食住の生活必需品ですので、どんな社会に於いても、建築商売はなくなった験しが無いと言われていました。ただ、この仕事は画家や彫刻家と違って自分一人では何もできません。鉄、コンクリート、ガラス、扉、照明器具、便器から木一本に至るまで、残念ながらなにひとつ建築学コースを学んだからと云って作れるわけではありません。皆様良くご存じの通り、多くに人々たちの力が寄せあって、初めて建築はできるのです。ですからまずは色々な人と知り合い、多くの人達と仲良くなる必要があります。授業で人と仲良くなるコースがあると思いませんが、多分このキャンパスでこの点については沢山の経験を積んだ事と思います。

特に建築を創る中で、其の纏め役になる皆様方は、数多くの仲間を創る事が必須条件です。逆にそれさえあれば、どんな社会になっても必ず建築の仕事はできると云って良いと思います。しかも、皆様はこの栄光ある横浜国立大学で建築を学んだ水煙会のメンバーであります。まずはこの同窓の仲間を大切にされ、新しい時代に向かって大きく、鋭く、そして力強く踏み出してください。皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げお祝いの言葉とさせて戴きます。

平成 22 年 3 月 25 日

水煙会会長 長崎駿二郎